



代表取締役 社長執行役員

白居 賢

株主の皆様へ

初冬の候、株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当上半期は世界的なインフレに対する各国の金融引き締めにより、景気下押し圧力が懸念されましたが、全体としては緩やかに回復しました。電子部品業界においては、半導体などの部品不足が緩和に向かい車載関連の生産は回復傾向となる一方で、需要が低迷している民生機器関連などの生産は低調に推移しました。

このような事業環境下、当社は新規拡販や様々な生産性向上に取り組みました。しかしながら、貨物取扱量減少の影響や荷動きの停滞に伴う効率悪化などにより、当上半期の業績は減収減益となりました。

下半期は、世界的な景気減速懸念、地政学リスクなど、先行きの不透明感が強まっています。電子部品業界では、民生、産機などで需要の落ち込みによる生産回復の見通しが遅れており、電子部品物流を取り巻く環境もさらに厳しくなるものと思われます。引き続き拡販活動や自動化を含めた効率化等、業績向上に努めてまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年9月 第2四半期

IRレポート

～ 2023年4月1日から2023年9月30日まで～

株式の概況 (2023年9月30日現在)

■株式の状況



■大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
アルプスアルパイン(株)	16,526	46.6
TDK(株)	2,804	7.9
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	2,282	6.4
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	1,877	5.3
アルパイン(株)	792	2.2

※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

会社情報 (2023年9月30日 現在)

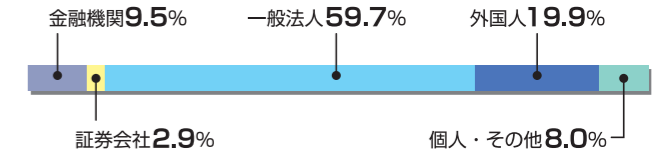
社名 株式会社アルプス物流 (証券コード 9055)  
 英文社名 ALPS LOGISTICS CO., LTD.  
 本社所在地 〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1756  
 電話番号 045-531-4133 (代表)  
 設立 1964年7月2日  
 資本金 2,353百万円  
 社員数 (連結) 5,856名 (単独) 918名  
 運行車輛数 (連結) 3,476台 (単独) 718台  
 倉庫面積 (連結) 1,004千㎡ (単独) 331千㎡

【株主優待制度のご案内】

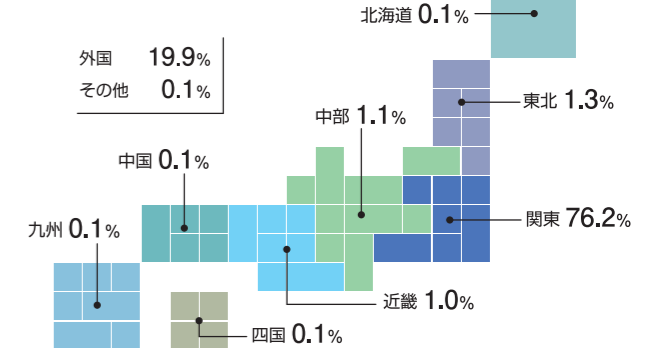
◆対象となる株主様: 毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1単元)以上を保有されている株主様

◆優待内容: QUOカード1,000円分 ◆贈呈時期: 6月下旬頃

■所有者別株式分布状況



■地域別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
 期末配当金受領株主確定日 3月31日  
 中間配当金受領株主確定日 9月30日  
 定時株主総会 毎年6月  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関 (連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
 上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場  
 公告方法 電子公告

【ご注意】・住所変更等のお手続きは、口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせ下さい。  
 ・特別口座に記録された株式に関するお手続き、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

物流個性 ●ホームページURL <https://www.alps-logistics.com/>  
 ●IR情報URL <https://www.alps-logistics.com/jp/ir/>  
 お客様のための、最適物流を。

## 当第2四半期の連結業績実績及び通期予想

(単位：百万円、率：前年同期比増減)

2024年3月期 第2四半期累計(実績)	
売上高	58,485 (△6.2%) ↓
営業利益	2,769 (△34.1%) ↓
経常利益	3,252 (△36.2%) ↓
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,876 (△36.9%) ↓

2024年3月期(予想)	
売上高	123,000 (1.5%) ↑
営業利益	6,700 (△16.7%) ↓
経常利益	6,200 (△29.5%) ↓
親会社株主に帰属する当期純利益	3,800 (△24.5%) ↓

## 連結業績の概況 (2023年4月1日～2023年9月30日)



3カ年の第5次中計2年目の当期は、引き続き基本方針を「地球と社会にやさしく・最適物流の追求と進化」とし、グローバルにビジネスの拡大を図っております。主要顧客である電子部品業界においては、半導体などの部品供給不足が緩和に向かい車載関連の生産は回復傾向となりましたが、民生機器、情報通信機器関連の生産は低調に推移しました。当社においては、電子部品の荷動き停滞に伴い取扱貨物量減少などの影響がありました。当期の連結売上高は、前期比6.2%減の584億円に、連結営業利益は、34.1%減の27億円となりました。

### ▼電子部品物流セグメント

新規顧客への拡販や生産性向上に取り組む一方で、民生機器、情報通信機器関連の生産は低調に推移し貨物取扱量は減少しました。また、国際輸送の競争環境の激化などもあり減収減益となりました。

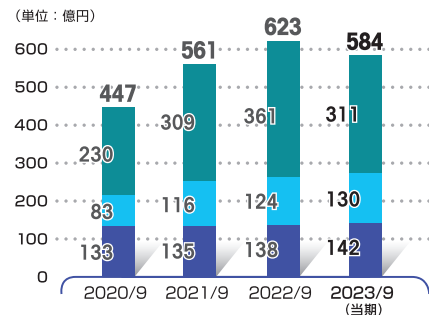
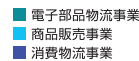
### ▼商品販売セグメント

北米向けの車載関連で電子デバイスの販売が伸び増収となりましたが、原価率上昇などの影響により減益となりました。

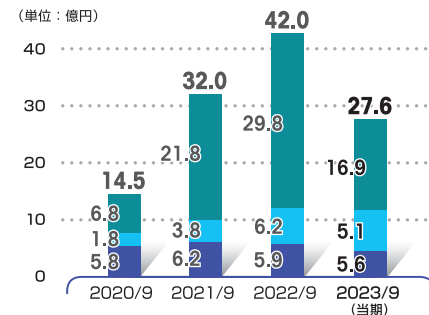
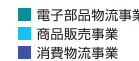
### ▼消費物流セグメント

EC通販関連の荷動きが堅調に推移したことなどにより売上高は増加しましたが、倉庫増床による賃借料、支払運賃などのコスト増加要因もあり減益となりました。

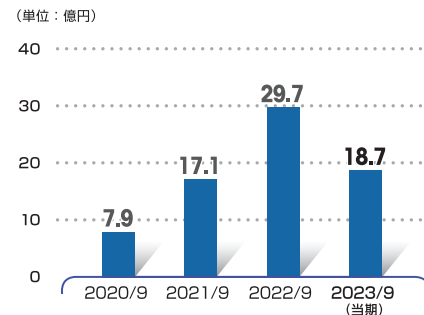
## 売上高



## 営業利益



## 親会社株主に帰属する四半期純利益



## トピックス



### 「統合報告書2023」を発行

当社は、2023年9月、初めての統合報告書を発行しました。統合報告書では、国内外の関係会社を含むアルプス物流グループにおける企業価値向上に向けた価値創造の全体像や、主に2023年3月期の財務情報、非財務情報を報告しています。当報告書を株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様との対話ツールとして活用し、今後も企業価値の向上に努めます。当社ウェブサイトにて公開しております。ぜひご覧ください。



### 海外展開を加速

当社は2016年より駐在員事務所を設置していたフィリピン・マニラにおいて、2023年6月、現地法人「アルプス・ロジスティクス・フィリピン」を設立しました。航空・海上輸送のフォワーディングサービスを提供してまいります。

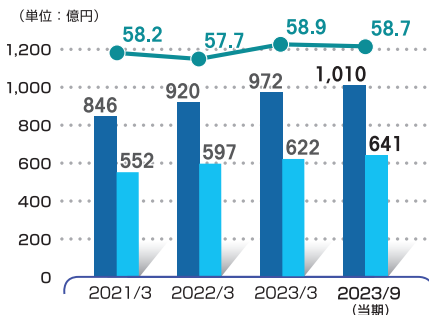


インドにおいては、10月より自社トラックによる長距離混載輸送サービスを開始しました。インド西部

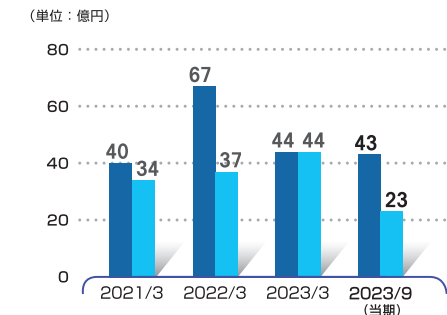


のグジャラートとデリー首都圏近郊のバワルを結び、車載製品の取り扱い拡大を図ってまいります。

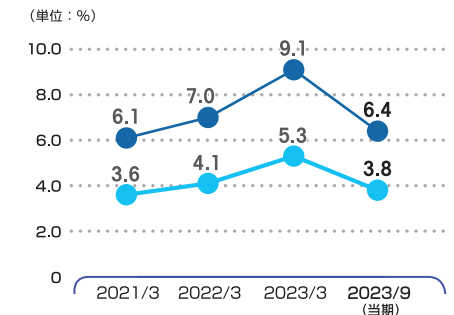
## 財政状況



## 設備投資・減価償却費



## ROE・ROA



※ 2023/9期は年率換算して算出しています。